

第1回学識懇談会の指摘事項に対する回答

意見及び質問	対応				備考																			
<ul style="list-style-type: none"> ・説明のあった5洪水の確率規模について 	行徳地点での確率規模（流量） ① 大正7年9月（6,400m ³ /s）→1/100 ② 大正12年9月（5,700m ³ /s）→約1/80（計画高水 約1/100） ③ 昭和54年10月（4,300m ³ /s）→約1/35（計画高水 約1/40） ④ 平成10年10月（3,600m ³ /s）→約1/20（計画高水 約1/25） ⑤ 昭和51年9月（3,300m ³ /s）→約1/15（計画高水 約1/20）				-																			
<ul style="list-style-type: none"> ・千代川と袋川の比取水量の比較根拠及び取水量を農地面積で求めた比取水量について 	流域面積及び灌漑面積を用いた比取水量 <table border="1" data-bbox="779 683 1839 979"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">取水量(m³/s)</th> <th>流域面積(km²)</th> <th rowspan="2">比取水量(m³/s/km²)</th> </tr> <tr> <th>灌漑面積(km²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">千代川</td> <td>19.33</td> <td>1,054</td> <td>0.018</td> </tr> <tr> <td>18.78(直轄区間)</td> <td>13.178(直轄区間)</td> <td>1.425</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">袋川</td> <td>3.50</td> <td>85</td> <td>0.041</td> </tr> <tr> <td>2.51(直轄区間)</td> <td>4.780(直轄区間)</td> <td>0.525</td> </tr> </tbody> </table>					取水量(m ³ /s)	流域面積(km ²)	比取水量(m ³ /s/km ²)	灌漑面積(km ²)	千代川	19.33	1,054	0.018	18.78(直轄区間)	13.178(直轄区間)	1.425	袋川	3.50	85	0.041	2.51(直轄区間)	4.780(直轄区間)	0.525	取水量 利水年表、減水法及びH11年の現地調査結果 灌漑面積 H11年現地調査結果
	取水量(m ³ /s)	流域面積(km ²)	比取水量(m ³ /s/km ²)																					
		灌漑面積(km ²)																						
千代川	19.33	1,054	0.018																					
	18.78(直轄区間)	13.178(直轄区間)	1.425																					
袋川	3.50	85	0.041																					
	2.51(直轄区間)	4.780(直轄区間)	0.525																					
<ul style="list-style-type: none"> ・レッドデータブックの貴重種を色分けについて ・鳥取砂丘に関し、千代川の役割についてコメントについて ・多様な生態系に関する表現の工夫について ・中流域の説明について、上下流の生物・・・とあるが判りづらいので、単に「中流域は生物相が豊か」という記載の修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重種については種別の選定区分表を追加しました。 ・鳥取砂丘に関する千代川の役割 修正前：「河口右岸には鳥取砂丘が広がる」 修正後：「河口右岸には千代川により運ばれた砂が堆積して形成された鳥取砂丘が広がる」 ・「多様な生態系に関する表現の工夫」は引き続き生物などの環境の整理を変遷など整理して充実させ、その結果を河川整備計画に反映していきます。 ・中流域の説明 修正前：「下流～上流に生息する種が生息・生育し、千代川の中で最も生物層が豊か」 修正後：「中流域は、千代川の中で最も生物層が豊か」 				-																			

17.千代川水域の確認種

河川水辺の国勢調査による千代川水域の確認種

種別	確認種数	特定種	出典
魚介類	魚類: 11目25科54種 エビ・カニ・貝類: 5目13科20種	スナヤツメ、スジシマトジョウ、ヤマメ、メダカ、カマキリ、シロウオ、オオヨシノボリ、イシマキガイ、モノアラガイ、ヤマトシジミ	平成17年度 河川水辺の国勢調査
両生類、は虫類、哺乳類	両生類: 7種 爬虫類: 7種 哺乳類: 13種	イモリ、ツチガエル、カジカガエル	平成16年度 河川水辺の国勢調査
鳥類	13目32科85種	カンムリカイツブリ、チュウサギ、コハクチョウ、オシドリ、ミサコ、ハチクマ、オオタカ、ハイタカ、ハヤブサ	平成13年度 河川水辺の国勢調査
陸上昆虫類	16目209科1,198種	アオモンイトトンボ、アオハダトンボ、カワトンボ(オオカワトンボ)、アオサナエ、トビヒシハツタ、スイムシハナカメムシ、タガメ、ツマグロキチョウ、カワラアワフキバチ	平成16年度 河川水辺の国勢調査
底生動物	9綱29目99科240種	イシマキガイ、モノアラガイ、ヤマトシジミ、オオカワトンボ、ニシカワトンボ、キイロサナエ、アオサナエ、ヨコミゾドロムシ、マシジミ	平成17年度 河川水辺の国勢調査
植生	草本群落: 38 木本群落: 11	アオネカズラ、ナガミノツルキケマン、ミスズマツバ、サンインギク、フジバカマ、ミクリ、ウキヤガラ	平成15年度 河川水辺の国勢調査

特定種の選定区分

魚介類		両生・爬虫・哺乳類		鳥類	
種名	選定区分	種名	選定区分	種名	選定区分
スナヤツメ	条例、国RDB(VU)、 県RDB(VU)	イモリ	県RDB(OT)	チュウサキ	国RDB(NT)、県RDB(NT)
スジシマトジョウ	国RDB(EN)、県RDB(NT)	ツチガエル	県RDB(DD)	クロサキ	県RDB(NT)
ヤマメ	県RDB(NT)	カジカガエル	県RDB(OT)	コハクチョウ	県RDB(NT)
メダカ	条例、国RDB(VU) 県RDB(VU)			オシドリ	県RDB(NT)
カマキリ	県RDB(NT)			ミコアイサ	県RDB(NT)
シロウオ	県RDB(NT)			ミサゴ	国RDB(NT)、県RDB(NT)
オオヨシホリ	県RDB(NT)			ハチクマ	国RDB(NT)、県RDB(NT)
イシマキガイ	県RDB(NT)			オオトビ	種保存、条例 国RDB(VU)、県RDB(VU)
モノアラガイ	国RDB(NT)、県RDB(NT)			ハイタカ	国RDB(NT)、県RDB(NT)
ヤマトシジミ	県RDB(DD)			ノスリ	県RDB(NT)
				ハヤブサ	種保存、条例 国RDB(VU)、県RDB(VU)
				イカルチドリ	県RDB(NT)
				カワセミ	県RDB(NT)
				セッカ	県RDB(NT)
陸上昆虫類等		底生動物		植物	
種名	選定区分	種名	選定区分	種名	選定区分
アオモンイトトンボ	県RDB(NT)	イシマキガイ	県RDB(NT)	アオネカスラ	条例、県RDB(VU)
アオハタトンボ	県RDB(NT)	モノアラガイ	国RDB(NT)、県RDB(NT)	ナガミツルキケマン	国RDB(NT)
カワトンボ (オオカワトンボ)	県RDB(OT)	ヤマトシジミ	県RDB(DD)	ミスズツバ	国RDB(VU)、県RDB(NT)
アオサナエ	県RDB(NT)	オオカワトンボ	県RDB(OT)	カワチシャ	国RDB(NT)
トゲヒシバツタ	県RDB(NT)	ニシカワトンボ	県RDB(OT)	サンインギク	県RDB(OT)
スズメシハナカメムシ	国RDB(CR+EN)	キイロサナエ	県RDB(NT)	フジバカマ	我国(危急)、国RDB(VU) 条例、県RDB(CR+EN)
タガメ	国RDB(VU)、県RDB(VU)	アオサナエ	県RDB(NT)	ミクリ	我国(危急)、国RDB(VU) 条例、県RDB(CR+EN)
ツマグロキチョウ	国RDB(VU)、県RDB(VU)	ヨコミゾトロムシ	条例、国RDB(CR+EN) 県RDB(CR+EN)	ウキヤガラ	県RDB(NT)
カラアワフキハチ	国RDB(DD)	マシジミ	県RDB(NT)		

※種保存:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物

条例:「鳥取県希少野生動植物の保護に関する条例」の希少野生動植物

国RDB:「環境省(庁)レッドデータブック(リスト)」

CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類、CR:絶滅危惧ⅠA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類

NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

県RDB:「レッドデータブックとっとり」

CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、OT:その他の保護上重要な種

我国:「我が国における保護上重要な植物種の現状」(絶滅危惧種、危急種)

追加

18.河川環境

修正前

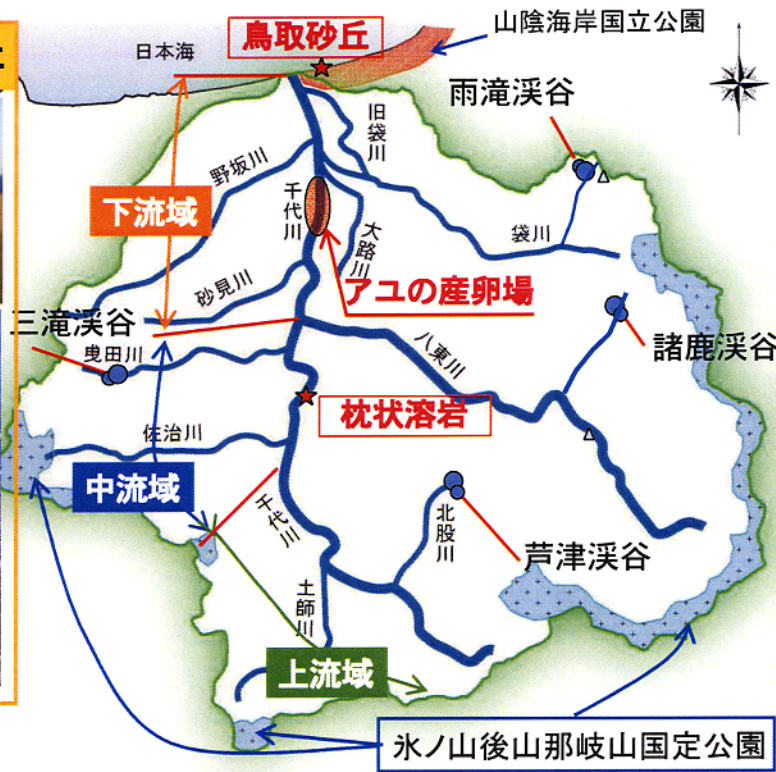
日本一の規模を誇る鳥取砂丘



河口右岸には鳥取砂丘が広がる

鳥取砂丘

千代川



鳥取平野を緩やかに流れる下流域

- ・河口の広大な水面や堰の湛水面にはカンムリカイツブリやコハクチョウ等の水鳥が飛来
- ・ワンドなどが形成されている箇所では抽水性植物のミクリが生育
- ・因幡大橋から源太橋付近にかけては千代川で唯一かつ規模の大きいアユの産卵場が存在



ミクリ



アユの産卵場付近の様子

清らかな流れと深い森に包まれた上流域

- ・水と緑に覆われた数多くの溪谷
- ・国の特別天然記念物であるヤマネが生息



芦津溪谷



ヤマネ (国の特別天然記念物)

多種多様な生物が生息し、変化に満ちた中流域

- ・山付け部など露岩がある箇所では水しぶきをあげて流下
- ・下流～上流域に生息する種が生息・生育し、千代川の中で最も生物相が豊か



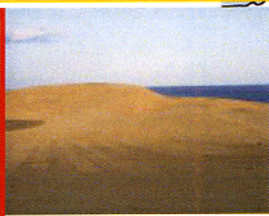
用瀬付近を流れる千代川

河川環境

修正後

日本一の規模を誇る鳥取砂丘

河口右岸には千代川により運ばれた砂が堆積して形成された鳥取砂丘が広がる



鳥取平野を緩やかに流れる下流域

- ・河口の広大な水面や堰の湛水面にはカンムリカイツブリやコハクチョウ等の水鳥が飛来
- ・ワンドなどが形成されている箇所では抽水性植物のミクリが生育
- ・因幡大橋から源太橋付近にかけては千代川で唯一かつ規模の大きいアユの産卵場が存在



清らかな流れと深い森に包まれた上流域

- ・水と緑に覆われた数多くの溪谷
- ・国の特別天然記念物であるヤマネが生息



多種多様な生物が生息し、変化に満ちた中流域

- ・山付け部など露岩がある箇所では水しぶきをあげて流下
- ・中流域は、千代川の中で最も生物相が豊か

